



# 学校だより

1月号

令和5年1月10日  
横浜市立洋光台第四小学校

～ 手をとりあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～  
ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

## 継続していく必要性とは・・・

校長 山口 高弘

新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご家族とともに、お健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年中は、本校教育活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。昨年末から、地域と関わり合う教育活動が始まりつつあります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

例年より長い冬休みを終え、いよいよ3学期が始まりました。静かだった校舎は、子どもたちの笑顔と元気な声で活気に溢れています。今学期は、1・2学期と比べて短い学期となりますが、学年のまとめをしたり、次の学年に上がる準備をしたり、とても大切な学期となります。一日一日の学習や生活を大切に、充実した3学期にしてほしいと思います。

今年は卯（うさぎ）年です。卯年には、次のような意味があるそうです。うさぎは跳ねる動物であることから、農作物が跳ね上がる程の豊作という願いを込めて、うさぎが割り当てられたとされています。また穏やかで家内安全の象徴という願いもあります。その他にも、跳びあがる姿から「飛躍」という願いもあるそうです。

一学期の始業式では、子どもたちに心の種の成長について話をしました。心の種をまき、学習や経験、友達や地域との関わり等の水や栄養を与えてきました。3学期はその花（成果や成長、満足感や充足感等）が咲き始める段階となります。大きな花を咲かせるためには、常に心の種を育てることを継続しなければなりません。そこで、心の種の話と共に、「継続は力なり」、「どんな小さなことでもコツコツと努力し続ければ、必ずそれはやがて大きな力となる。」というお話をしました。話の中で、元プロ野球選手でアメリカのメジャーリーグでも活躍したイチロー選手を紹介しました。日本とアメリカを合わせて4367本安打という世界記録をつかったイチロー選手は、よく「天才プレーヤー」と呼ばれることもありましたが、実はとっても努力家で人一倍練習をしていた選手だったのです。小学校時代から、将来、プロ野球選手になるというしっかりした目標をもち、努力し続けたことを伝えました。しかし、続けて頑張っている、すぐにうまくいくとは限りません。できなくても、うまくいなくても、頑張り続けることが大事です。3学期は、心の種から大きな花を咲かせ、来年の自分の目標（新しい心の種）に向けて「続けて 頑張ること」を通し、大きく飛躍してほしいと願っています。

